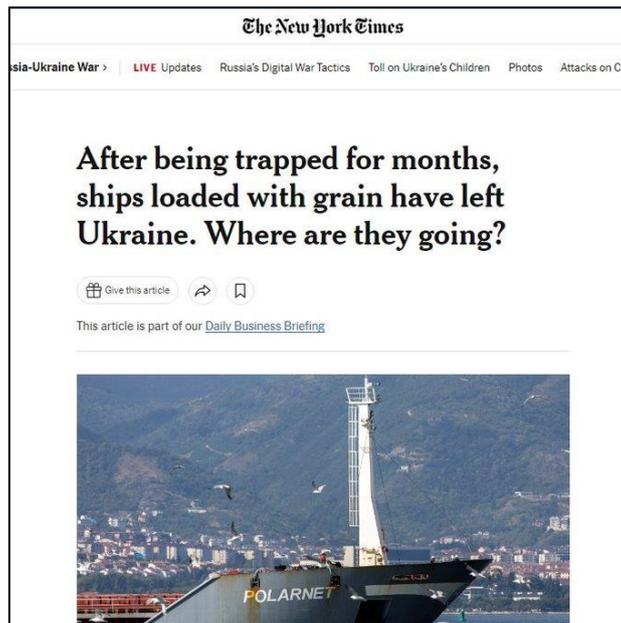


# 8月16日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●ウクライナの穀物の輸出先(2022年)

数ヶ月間閉じ込められた後、穀物を積んだ船がウクライナを出発した。行き先はイギリス、アイルランド、イタリア、中国。世界を飢餓から救うためにウクライナの穀物が緊急に必要なだという西側のシナリオはどうなっているのだろうか？イエメン、ソマリア、エチオピアなど、深刻な飢餓に直面している国には行ってない。下はニューヨーク・タイムズの記事。「何か月も足止めされた後、穀物を積んだウクライナ船が出港。どこへ行くの？」



※安齋注:貨物船 POLARNET(ポーラーネット)は 2016 年建造の一般貨物船で、8 月 12 日 11 時 00 分にトルコの Kartal Anch.(カータルの停泊港)に到着、現在トルコの旗で航行中です。

## ●ドネツクの街に撒かれた対人地雷で足を失った15歳の男の子(MudRogue,2022年8月15日)



※安齋注:映像は日本語字幕がなく長いので割愛します。解説者(アカウント名:MudRogue)の弁=「私は『ロシアがやった』と言うことは許されている。証拠がなくとも、それはいくらでも言える。でも、真実を言うことは許されていない👁️ 検閲されるんだ」

投稿者が代弁:「私が言おう。ウクライナがやった。シリアル・ナンバーを調べれば分かるはず」。

イギリス国防省や公式軍事テレビはロシア軍がペダル地雷(蝶型地雷)を使っているというウクライナのフェイク・ニュースを公式に繰り返しているが、彼らは破廉恥にも、ドネツクでドネツク人民共和国の兵士がそうした地雷を破壊している映像までウクライナ軍兵士の勇敢な行為として紹介したりしている。

## ●ミコライフ近郊の町での食料配布(2022年8月13日)

ミコライフ近郊の町の住民は人道的支援として箱入りの食料を受け取った。安全上の理由から食料品の配布は軍ではなく、地元住民自身によって行われ、町の近くで戦闘が行われているため、行列を作らないようにしている。ミコライフ州に属していたこの町は現在はケルソン州に編入され、当局が町民を支援している。



## ●死ななくて良かった。ナチ政権が崩壊するまでドンバスにいたらいと思う(ロシア国防総省公開動画、2022年8月14日)

捕虜となった第25独立空挺旅団のヴィタリー・デレファンキンがウクライナ政府に物申す。

<https://twitter.com/Jano661/status/1558475101338992640?t=0EfyVQdsMFCXJePClQRg3g&s=09>

※安齋注:途中、「われわれは(捕虜の扱いについて)ジュネーブ条約に違反していますか?」と問う声は、このビデオを撮影しているロシア国防省関係者。

## ●街角インタビュー:ウクライナとロシアはどこですか?(KILLNET,2022年8月13日)

とてもとてもトンチンカンです。恐ろしい程、トンチンカンです。

<https://twitter.com/Jano661/status/1558358466938695685?t=zQ11KNeA2Y7XNbKQI9IJfQ&s=09>

## ●化学物質タンクのある施設へ攻撃(2022年8月10日)

2022年8月10日、第110機械化旅団分隊はドネツクアドビーヴカの製造過程で使う有害物質を保有する醸造所を攻撃。40トンの冷却システムから6トンのアンモニアが漏出した。従業員が一人死亡2人が気道熱傷で手当てを受けた。

<https://twitter.com/Jano661/status/1557951805958819840?t=vG4LiQh7CM4pruINrA59Iw&s=09>

## ●ザポロジエ原発の状況に関する国連安保理会合に関するロシア外務省のザハロワ報道官のコメント(2022年8月11日)

ロシアのイニシアティブで召集された国連安保理会合では、ウクライナ軍によるザポロジエ原発への止むことのない砲撃をめぐるきわめて危険な状況について、協議が行なわれた。

ロシアのネベンジャ常駐代表は、ウクライナが及ぼす脅威について、客観的かつ包括的な評価を行なった。評価は、IAEA グロッシ事務局長が示した分析と多くの点で似通っている。

会合では、自国の反ロシアの方針に合わせて、西側諸国の代表らがウクライナによるザポロジエ原発砲撃に関する明白な事実を一斉に否定する態度を示したことに、苛立ちを覚えた。

国連事務総長の姿勢には、相変わらず疑問が湧いてくる。今回もまた事務総長側からは、ウクライナ指導部に対して何のシグナルも送られなかった。



※安齋注:国連は殆どアメリカに乗っ取られていますので、驚きはしませんが、とても悲しい出来事です。ここ何年も、ロシアの言うことには耳を貸さず、なかったことまでロシアのせいにして総会決議でバッシングするような不条理を、アメリカの命令一下いわゆる「西側諸国」がやるような堕落した実態があります。国連も地に堕ちたもんだ。原発立国を続けてきて旧ソ連と同じように原発災害を体験した日本が、国際社会に何も発信しないのは「アメリカの子分」だからで、2011年の福島原発事故の体験からして「ゼレンスキー政権は原発を標的に攻撃するような危険極まりないことをやるな！」とでも言ったら、アメリカに「子分の分限をこえた出過ぎたマネはするな！」って叱られるんだろうな。「伝言館声明」を出さなくては!!

### ●ミコライフ(ドネツク人民共和国)に住む97歳のおばあちゃんがロシア兵に心から感謝(2022年8月13日)

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1558462242190163969?t=1DvifmJCpDBVyptoK7vXQ&s=09>

### ●社会派アニメーション「戦争とハーワ」作・バトルロイヤル風間(2022年5月31日)

<https://youtu.be/OTPV5ayiRo0>

### ●「生きづらかった」ルガンスク・ボロフスコエの住民(2022年8月13日)

ルガンスク・ボロフスコエの住民、ウクライナ戦闘員の振る舞いについて語る。

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1558383037968416770?t=bTFdaUO-m7BBONAXZdMoQ&s=09>

### ●Get out of Ukraine「ウクライナから出ていけ」(2022年8月13日)

<https://twitter.com/i/status/1558396759298252800>

### ●ウクライナ兵を訓練するイギリスのプロパガンダ映像(2022年8月14日)

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1558560235794857984?t=IYnzm5ujrZhKsvaspvGaA&s=09>

ウクライナ軍が 2014 年以降、アメリカおよびイギリスによる激しい訓練を受けている。アゾフをはじめとするネオナチはアメリカ人とカナダ人が訓練していた。ロシアが現在ウクライナで戦っているのは、NATO の訓練を受け NATO の武装した軍隊だ。

### ●テレ朝はどうしてこういう見え透いた嘘をつくのかな？(2022年5月9日)

※安齋注: 白い腕章をつけているのはロシア兵であることは、今やウクライナ問題に関心をもつ人にとっては常識のはずだが…。ロシア兵の映像に、まるでウクライナ兵が頑張ったといったナレーションをつけるのは常套手段ですが、テレ朝は信用を失いますね、こんなデタラメを放送していると。

<https://youtu.be/WJay1KLEQt4>

下の映像も、ゼレンスキーがどう説明しようと、白い腕章のロシア兵がウクライナ兵を検査し、捕虜として誘導しているようにしか見えない。

[https://www.youtube.com/watch?v=ug-cnH\\_GMJs](https://www.youtube.com/watch?v=ug-cnH_GMJs)

### ●ウクライナ元高官のネオナチ的楽しみ(2022年8月14日)

ウクライナ高官で元ジャーナリストの Serhiy Leshchenko(セルギー・レシチェンコ)は、ロシア人の死体を映したビデオを見るのが楽しみだとテレビで説明した。ウクライナにおけるナチズムのもう一つの図式。



### ●砲弾が壁に突き刺さっている(2022年8月12日)

ウクライナ軍による攻撃から解放されたドネツク・シロキノ村の一家が再建のため 7 年ぶりに我が家へ。集められた「壁に突き刺さっていた砲弾」の数が半端じゃない。

[https://www.youtube.com/watch?v=x\\_uqHwyUEZw](https://www.youtube.com/watch?v=x_uqHwyUEZw)



### ●ウクライナ捕虜になったロシア人の証言(2022年8月13日)

ルガンスク・セヴェロドネツクの住民 2014年にウクライナの戦闘員に捕らえられた時の様子を語る。

<https://www.youtube.com/watch?v=IxCHNbVomZs>